

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポコアポコ和徳			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラム内容の充実	季節に合わせたイベントや戸外活動、製作活動や全身運動などを取り入れている。また、畑で野菜の苗植え植えから収穫まで体験したり、毎月クッキングを実施し、包丁で具材を切る・炒める等の工程を経験したり、粉からねって麺やパンを作って食べる等食育活動に力を入れている。	様々な活動内容について事業所通信だけでなくSNSも活用しながら保護者や事業所以外への発信をしていく。利用児からはこども会議で活動内容について要望を聞いているが、保護者からの要望も取り入れながら様々な活動を実施できるようにしていく。
2	専門職による支援	作業療法士による専門的な視点での支援を取り入れながら微細運動・全身運動を実施し、日常生活動作や身体機能の向上を支援している。	作業療法士による事業所内研修を実施しながら、全職員が専門的な支援についての知識を持ちながら日々の支援に取り組めるようにしていく。また、外部の専門家による研修も定期的に実施し、職員のスキルアップに繋げていく。
3	個別、集団での活動	日々のプログラムは個別活動（療育）の他に小集団・集団での運動や製作活動などを通して微細運動や全身運動を実施し運動機能の向上を目指している。また、ルールのある活動を通して社会性を身に付けられるようにしている。	引き続き職員全体で活動の振り返りを行いながら個別・集団での活動内容を改良していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭い	活動に使用している部屋が二つあるが、運動するには制限がある構造になっている。二つ以上に活動を分けたい時には不便を感じることもある。	限られたスペースを有効に使ってできる様々な運動を職員全体で工夫して実施している。運動会等広いスペースが必要な時は近くの体育館を借りて思い切り体を動かす機会を設けている。二つ以上に活動を分けるときは大きな部屋を二つに区切るなどして工夫している。
2	事業所にバリアフリーが少ない	事業所の構造上、玄関を入ると階段があったり、部屋の入口に段差がある。	階段には手すりを設置し安全に上り下りできるようにしている。また、階段上部のホールでは遊ばないように指導を徹底している。部屋の段差に関しては現時点では問題は生じていないが、引き続き声掛け・見守りしながら危険防止に努めていく。
3	保護者同士の関わりが少ない	保護者同士の交流の機会を兼ねて年に1回程度保護者参加型行事を実施しているが、参加する保護者がいつも同じになってしまう。	より多くの保護者の方に参加していただけるように、保護者参加型行事の実施日や内容について検討が必要。行事の内容については保護者の要望を反映できるようにアンケートを実施していく。